

平成 23 年度 東京大学  
教養学部 後期課程 地域文化研究学科  
大学院総合文化研究科 地域文化研究専攻  
アジア関係学位取得者・論文題目一覧

**学士号取得者**

- 江崎 隆一 中国農村を巡る「共同体」論争について  
黒岩 健一 移民と開発  
—— インド・ケーララ州の移民とケーララ・モデル  
鈴木菜々子 ウイグル語表記の変遷と政治  
—— 新疆ウイグル自治区におけるラテン文字式「新文字」の導入（1965-  
1982）に見る「多民族国家」中国の少数民族政策  
武智佑一朗 在日台湾独立派の言論分析  
—— 金美齡の語る台湾像を中心に  
辻 茉莉 シンガポールにおけるシティズンシップ教育  
—— 初等教育の社会科教育からの考察  
所 由梨 保育政策の日韓比較  
野崎 耕平 韓国の電子政府政策  
—— 盧武鉉政権における推進体制  
保住 杏奈 近代イランの経済政策  
—— シヤスターの財政改革の試み

**修士号取得者**

- 王 琪穎 明治初期日本人の対ロシア論  
—— 樺太問題をめぐる諸新聞の議論  
呉 修喆 清末民国における漢字文化新分野の形成  
—— 文義謎ブームをめぐって  
呉 永台 文久期における肥後藩の政治動向  
—— 中央政局における政治運動を中心に  
佐藤 卓巳 産油国クウェートにおける国家運営と教育政策  
—— 人材開発と国民形成  
成 恩暎 オペラ「春香」にみる日本人・朝鮮人の文化交流  
—— 帝国日本の遺産と脱植民地化の可能性

- 鈴木 啓之 パレスチナ被占領地における「市民的抵抗」の発展  
— インティファダの背景へのアプローチ
- 鈴木 涼子 清末民国期 上海租界における土地紛争  
— 米国領事館裁判記録を手がかりとして
- 千葉 昌子 16世紀ニザーミー詩編『神秘の宝庫』の挿絵にみられる詩的要素
- 鄭 大雄 1970年代初頭デタント期における日韓関係  
— 北朝鮮問題をめぐって
- 道家 真平 先進性の発見と解釈  
— 『朝日ジャーナル』と「世界のスチューデント・パワー」
- 山口 早苗 周作人と雑誌『歌謡週刊』  
— 平民文学を中心に
- 山崎 典子 中国ムスリム・エリートにおける「回」  
— 清末民初の時期を中心に
- 若林 恵 外山正一の社会思想  
— 対外認識と国内改良

### 博士号取得者

- 星 純子 現代台湾コミュニティ運動の地域社会学  
— 高雄県美濃鎮における社会運動、民主化、社区総体营造
- 宮下 陽子 現代トルコにおける政治的変遷と政党 — 1938~2007  
— 政治エリートの実証分析の視点から
- 後藤 絵美 「神のために」まとうヴェール  
— 現代エジプトのムハッジャバ増加現象と宗教言説の浸透
- 大田 英昭 明治日本における社会民主主義の形成  
— 片山潜とその時代
- 伊藤 未帆 ベトナム北部山間部における民族寄宿学校と少数民族  
— 選抜メカニズムの地域的多様性と人々の選択
- 森田 健嗣 単一言語主義とその限界  
— 戦後台湾における言語政策の展開 (1945-1985)
- 朴 智泳 伊達宗城  
— 「大名同志会」から「賢侯クラブ」へ
- 平山 昇 初詣の成立と展開  
— 近代日本の都市における娯楽とナショナリズム
- 渡邊 祥子 アルジェリア・ウラマー教会のイスラーム改革主義運動  
— ナショナリズムとの関係を中心に